講義名	観光産業論					授業形態	
担当教員	金　承珠	開講期・曜日・時限	後期 金曜日 ３時限				
		単位数	2	履修開始年次	２年生	ナンバリング	

主題と概要

21世紀最大の成長産業と言われる観光産業は日本の基幹産業の一つでもある。
観光消費は、買い物、宿泊、飲食、交通、娯楽など観光関連産業だけでなく幅広い産業に波及しているため、観光産業による経済波及効果も非常に大きい。さらに、2020年5月に国連世界観光機構（UNWTO）が発表した『観光回復に向けた新型コロナウイルス感染症からの回復支援策』の中で、「旅行と観光を支援することは職と暮らしを支援するとこに他ならない」と述べており、観光が地域に及ぼす影響は経済だけではく社会的にも大きいと言える。
そのため本講義では地域における観光産業に関する基礎的な知識を修得するとともに観光産業の果たす役割と今後における観光産業のあり方についての理解することを目的とする。

到達目標

（1）観光産業に関する概念および定義について説明できる。
（2）観光産業におけるビジネスモデルを理解できるようになるしている。
（3）観光産業の課題を特定し、課題解決の方向性を提示することができるようになる。
（4）ICT、IOTといった技術革新による観光産業を取り巻く環境の変化を捉え、ビジネス拡大の可能性に関心を持つことができるようになる。

提出課題

課題レポートは、提出期限を厳守すること。期限を過ぎた場合は、いかなる事由があっても受付けません。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

講義の約10分前に講義内容の理解を確かめるため講義毎に質問・コメント表作成を行います。
翌週の講義では前回の講義内容に関する質問等に対してできるだけ回答します。

評価の基準

・授業回数の3分の1(5回)以上を欠席すると評価を受ける資格がなくなります。（遅刻は、2回で1回の欠席としてカウントする。 ）
・課題のレポートは、指定した内容でのレポートを提出。
・評価については、授業態度（ミニッツ・ペーパー提出等）30%、課題レポート30%、期末テスト40%で総合的に評価する。
・毎回の出席確認は、respon を用いて実施します。
・「ミニッツ・ペーパー」の提出がない場合、出席は無効とします。

履修にあたっての注意・助言他

・教室内での私語および飲食、不要な出入り、携帯電話の使用などは禁止します。(摘発時退室)
・授業開始から20分後の入室は禁止します。

教科書

.資料しない.				

参考図書

.なし.				

その他

・テキストは使用せず、レジュメや資料中心に授業を進めます。
・講義の理解に役立つ文献や資料等は随時、授業中に紹介します。

授業計画

１　ガイダンス
２　観光と観光産業(観光産業の概念、意義)
３　観光産業の現状
４　観光産業のマネジメント・マーケティング
５　観光産業における飲食業
６　観光産業における旅行業
７　観光産業における宿泊業
８　観光産業における宿泊業②
９　観光産業における運輸旅客業
１０　観光産業における4次産業革命
１１　観光産業におけるソーシャルメディア
１２　観光産業におけるインバウンド戦略
１３　持続可能な観光と観光産業
１４　観光産業の課題と方向性
１５　まとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）

	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

・授業で学んだ内容のポイントを整理してまとめてください。（90分程度 ）
・予習として、次回の授業範囲をよく読み内容を整理してください。　(90分程度)
・復習はレジメに基づいて、しっかり行ってください。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

目標（1）と（2）の達成することで観光関連産業について広く学ぶことによって、観光産業全体の構造と概要を概括的に理解することができる。目標（3）（4）を達成することで、観光ビジネスの経営構造の理解と既存ビジネスモデルの限界や今後の可能性を考える枠組みを養うことができる。全ての目標に取り組むことによって、自ら考え挑戦することができ観光産業における即戦力となる人材になる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

オンライン授業は動画配信によって実施します。授業動画のURL，配付資料等，必要な連絡はRyukaポータルの「講義連絡」で行います。 講義に関する質問に対してはメールやレスポンでも対応することにします。

実務経験の有無及び活用

備考

シラバスの内容は場合によって変更の可能性があります。